

# 原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合

## (第 1186 回 非公開会合)

1. 日 時 令和 5 年 9 月 22 日 (金) 10 : 30~11:30
2. 場 所 原子力規制庁内会議室
3. 出席者  
原子力規制委員会 石渡委員  
原子力規制庁 大島原子力規制部長、内藤安全規制管理官 (地震・津波審査担当)、岩田安全管理調査官 他 2 名  
日本原電 (株) 堀江常務執行役員 他 10 名
4. 議 題
  - (1) 日本原子力発電 (株) 東海第二発電所の標準応答スペクトルの規制への取り入れに伴う基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について (特定重大事故等対処施設含む)
  - (2) 日本原子力発電 (株) 東海第二発電所の許可後の知見の確認について
  - (3) その他
5. 配布資料
  - 資料 1 - 1 東海第二発電所 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価を踏まえた基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について (非公開)
  - 資料 1 - 2 東海第二発電所 津波評価及び火山影響評価  
許可後の知見の確認について (非公開)

## 6. 議事概要

- (1) 日本原子力発電(株)から、東海第二発電所の設置変更許可申請(標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更)(令和3年6月25日申請、令和5年6月23日一部補正。)のうち、基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価並びに平成30年9月26日の設置変更許可(以下「既許可」という。)後の知見の確認について説明があった。
- (2) 石渡委員及び原子力規制庁は、基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価並びに既許可後の知見の確認について、おおむね妥当な検討がなされたと評価した。ただし、既許可後の知見については、6月23日に提出された補正に含まれていないこと、標準応答スペクトルの審議にあたっては、複数の地下構造モデルの位置づけ等が申請当初から変更されたことを踏まえ、これまでの審議結果を反映した「まとめ資料」を用いて、次回公開会合で説明することを求めた。
- (3) 日本原子力発電(株)から、了解した旨の回答があった。

以上